

TOEFL Junior®を受験している高校生対象

CEFRとTOEFL Junior®のスコア別 文法・語彙とリーディング独習法 ロードマップ

—「読む力」を「思考力」に高めるために—

立命館大学 国際関係学部 准教授

元京都教育大学附属高等学校 進路指導主任・英語科主任

一般社団法人国際教育英語試験協会アドバイザー

佐古 孝義

著者紹介

佐古 孝義

所属：立命館大学 国際関係学部 准教授

学歴：京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了 博士(人間・環境学)

経歴：主な著書に『コーパス・クラウン総合英語』（編集委員会代表、三省堂）

資格：IELTS Overall 8.0 (スコア取得年月: 2019年7月) 詳細: R8.5/L8.0/W7.0/S7.5

TOEFL iBT® Best Score 112 (スコア取得年月: 2020年1月) 詳細: R30/L30/W28/S24。

英検1級

活動：教育や英語学習に関するテーマでポッドキャスト「Critical Classroom Chat Chat (C3)」配信中。

https://open.spotify.com/show/4lnfpZ820OyJa19vhyYXvt?si=BdAF94_NQYaNSyS8QkrZ2Q

ポッドキャスト
「Critical Classroom Chat (C3)」



目次

※参考資料：TOEFL Junior®オフィシャルスコアレポートサンプル	p.2
1. はじめに～文法・語彙とリーディング学習の「道しるべ」～	p.3
2. TOEFL Junior® 頻出問題の出題傾向と内容分析	p.4
2.1 【文法・語彙セクション (Language Form and Meaning) の傾向】	p.4
2.2 【リーディングセクション (Reading Comprehension) の傾向】	p.5
3. ディスクリプタとスコア別特徴・学習法	p.6
3.1 【文法・語彙セクション (Language Form and Meaning)】	p.6
3.1.1 【CEFR A1 / スコア below 210】	p.7
3.1.2 【CEFR A2 / スコア 210-245】	p.7
3.1.3 【CEFR B1 / スコア 250-275】	p.8
3.1.4 【CEFR B2 / スコア 280-300】	p.8
3.2 【リーディングセクション (Reading Comprehension)】	p.9
3.2.1 【CEFR A1 / スコア below 210未満】	p.9
3.2.2 【CEFR A2 / スコア 210-240】	p.10
3.2.3 【CEFR B1 / スコア 245-285】	p.10
3.2.4 【CEFR B2 / スコア 290-300】	p.11
4. スコア帯別誤答パターン分析と対処法	p.11
4.1 【文法・語彙セクション (Language Form and Meaning)】	p.11
4.1.1 【CEFR A1 / スコア below 210】	p.11
4.1.2 【CEFR A2 / スコア 210-245】	p.14
4.1.3 【CEFR B1 / スコア 250-275】	p.15
4.1.4 【CEFR B2 / スコア 280-300】	p.21
4.2 【リーディングセクション (Reading Comprehension)】	p.23
4.2.1 【CEFR A1 / スコア below 210】	p.23
4.2.2 【CEFR A2 / スコア 210-240】	p.23
4.2.3 【CEFR B1 / スコア 245-285】	p.25
4.2.4 【CEFR B2 / スコア 290-300】	p.29
4.3 〈読解ストラテジー ポイント解説〉	p.33
5. スコアアップを目指す学習ステップ(段階的アプローチ)	p.34
6. おわりに～最も確実なスコアアップへの道～	p.35

※参考資料：TOEFL Junior® Standardオフィシャルスコアレポート(サンプル)：TOEFL Junior® Standardの結果は、合否判定ではなく、スコアで表されます。テストスコアをもとに、CEFRのレベルと、あなたが英語でどのようなことができるのかの解説（Descriptors/デスクリプタ）が書かれています。



TOEFL Junior® STANDARD スコアレポート

Kumon Taro 様

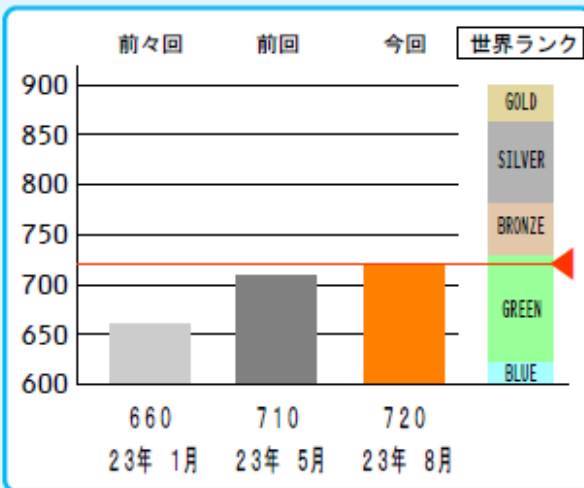
Student Name:
Kumon Taro
Student Number:
33333333333333
Date of Birth:
2-Dec-2014
Test Date:
18-Jul-2023

*07100002 000071 000003#000079
015 00002 000081 33333333333333



TOEFL Junior® STANDARD スコアガイド

スコアの伸び(合計スコア)



能力チャート・CEFR・Lexile指数

あなたの能力チャート

リスニング: 266/300

リーディング: 225/300

文法・語彙: 240/300

あなたのCEFR: B2, B1, A2, A1

あなたのLexile指数 (読解力レベル): 675L

あなたのセクション別CEFRレベル・パフォーマンスの説明

セクション	CEFR	パフォーマンスの説明
リスニング	B2	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容が学術的か一般的かを問わず、表現が明確で、簡単な英語によって文脈が明確であれば、長めのスピーチについて、趣旨を理解できる。 ● 内容が学術的か一般的かを問わず、簡単な英語で文脈が明確であれば、長めのスピーチについて、重要ポイントを特定できる。 ● 簡単な英語で文脈が明確であれば、短いスピーチについて、内容を推測できる。 ● やや複雑なスピーチで使われる一般的なイディオムを理解できる。 ● 身近な内容であれば、話し手がどのように情報を使っているか理解することができる(例: 意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする)。
	B1	
	A2	
	A1	
文法・語彙	B2	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般的な内容であれば、最も基本的な文法構造(例: 動詞の現在形・過去形など)の意味や使い方を正確に認識できる場合がある。 ● 最も頻繁に使われる、一般的な語彙を身につけている。 ● 一般的な内容であれば、文章の効果的な段落構成を認識している場合もあるが、学術的な内容では困難となる場合が多い。
	B1	
	A2	
	A1	
リーディング	B2	<ul style="list-style-type: none"> ● 表現が明らかなで、内容が一般的であれば、趣旨を特定できる場合がある。 ● シンプルな英語で文脈が明確であれば、内容が学術的か一般的かを問わず、基本的なポイントを特定できる場合がある。 ● 予定表やメニューなど、日常的かつ一般的な語彙を用いた非定型の文章から、基本的な情報をおおむね見つけることができる。 ● 平易な文章で、内容が一般的であれば、場合によっては単純な推測を行うことができる。 ● シンプルな構成の文章で、内容が一般的であれば、文脈から知らない単語の意味を把握できる場合がある。
	B1	
	A2	
	A1	

1. はじめに ～ 文法・語彙とリーディング学習の「道しるべ」～

英語学習において、「読む」という技能は、多くの情報を得るための基礎となる重要な力です。しかし、多くの学習者が「単語が分からなくて進まない」「文法の知識をどう使えばよいかわからない」「文の構造が複雑で意味が取れない」「読むのに時間がかかりすぎて、試験でいつも最後まで解き終わらない」といった壁に直面しているのではないのでしょうか。

先生方からは、「様々なジャンルの英文に数多く触れることが大切だ」といったアドバイスが示されることもあるでしょう。これは間違いなく真実ですが、いざ実践しようとする、「自分のレベルに合った文章はどれか」「具体的に何を意識して読めば力がつくのか」が分からず、途方に暮れてしまうことも少なくないでしょう。ただやみくもに英文を読み続けるだけでは、なかなか読解力は向上しないのもまた現実です。

ここで、なぜこのレポートが「文法・語彙」と「リーディング」を一つのロードマップとして扱っているのか、その理由について触れておきたいと思います。それは、リーディングという活動が、文法と語彙という2つの土台の上に成り立つもので、両者がきわめて密接な関係にあるからです。単語（語彙）が文を作るためのいわば「部品」だとすれば、文法はそれらを正しく組

み立てるための「設計図」や「ルール」にあたります。部品がなければ家は建ちませんし、設計図が読めなければ部品を正しく組み合わせることはできません。同様に、リーディング力の向上には、この両方の知識が必要不可欠であり、両者は互いに補い合いながら力を高めていくものです。したがって、このレポートでは両者を切り離して学習するのではなく、一つの連続したスキルとして捉え、それぞれの力を相乗効果で高めていくための学習法を提案したいと考えました。このレポートは、そうしたリーディング学習の「道しるべ」となることを目指して作成しました。特に、国際的な指標であるTOEFL Junior®の文法・語彙セクションとリーディングセクションのスコアを客観的な「現在地」として活用し、それぞれのレベルで学習者が抱えがちな課題を分析します。そして、その課題を克服するための具体的な学習法や誤答への対処法、さらにはスコアアップに向けた段階的な学習ステップを「ロードマップ」として提示します。

このレポートが、皆さんの学習における確かな指針となり、自信を持って英文を読み解く力を育むための助けとなれば幸いです。

2. TOEFL Junior® 頻出問題の出題傾向と内容分析

2.1 【文法・語彙セクション (Language Form and Meaning) の傾向】

▶ Language Form and Meaning 文法・語彙

文法・語彙セクションは、英語構造の理解と語彙の知識、その理解の深さを測定します。問題は一連の短い文章内にあり、センテンスを完成させるための正しい単語やフレーズを選択することが求められます。各文章は次の種類に分類することができます。

- ◆ Eメールや告知
- ◆ 教科書の記事



文法・語彙セクションには、2種類の異なる問題が含まれます。(TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] pp.12-13)

- ◆ 文法問題：文法構造の知識(例えば、動詞の時制、関係詞節、語順、形容詞や副詞の形など)を測定します。
- ◆ 語彙問題：語彙の知識を測定します。

TOEFL Junior®の文法・語彙セクションは、英文中の空所に適切な語句を選んで文を完成させる形式で出題されます。内容としては手紙やEメール、短い記事などの身近な文章が題材となり、その文脈の中で文法知識と語彙力が試されます。頻出の文法項目は中学・高校で学ぶ典型的なものが多く、受動態(受け身表現)、接続詞(従属節を導く語など)、関係詞(関係代名詞を用いた節)、比較表現などが代表的です。選択肢には似た語形や表現が並び、文構造や文法の使い方を正しく理解していないと引っかかりやすい問題も多く含まれます。

例えば、「従属接続詞の後には名詞ではなくS(主語)+V(動詞)が続く」など、正確に文法を理解していないと誤答を選んでしまうこととなります。また語彙に関しても、文脈に照らして適切な意味をなす単語を選ぶ問題が出題されます。同音異義語や紛らわしい語、コロケーションの知識が問われ、前後の文脈を踏まえて正しい語を選ぶ必要があります。文法・語彙セクションでは25分で42問を解く必要があります(1問あたり約30秒程度)、スピードと正確さの両方が要求される点も特徴です。

2.2 【リーディングセクション (Reading Comprehension) の傾向】

▶ Reading Comprehension リーディング

リーディングセクションは、中学校・高校の環境で出会うであろうアカデミックとノンアカデミックな英語の文章を読んで、理解する能力を測定するよう作られています。

－アカデミックな文章の例

- ◆ 物語
- ◆ 重要な歴史的人物に関する伝記的な文章
- ◆ 教科書に出てくるようなアカデミックなトピックに関する文章

－ノンアカデミックな文章の例

- ◆ Eメール、メモ、手紙
- ◆ 予定表やポスター
- ◆ ニュース記事(例えば、校内新聞に出てくるようなもの)



(TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] p.13)

さまざまな文章を使った、以下のいくつかの設問タイプがあります。

Main Idea (要旨)：文章の全体的なテーマや最も重要な考えを理解する

Factual Information and Negative Fact (事実情報と間違っている情報)：文章の要点を裏付けする重要な事実情報を識別する

Inference (推測)：文章でははっきりと述べられていない情報に基づいて推測する

Vocabulary in Context (文脈における語彙)：文脈に基づいて見慣れない単語やフレーズの意味を判断する

Pronoun Referent (代名詞が指す語句)：代名詞の指す語句を特定する

Author's Purpose (書き手の目的)：書き手の意図を特定する

Figurative Language (比喩的表現)：周囲の文脈からイディオムや比喩的表現の意味を特定する

リーディングセクションでは、学校生活に関わるお知らせや掲示物、ストーリー(物語文)、学術的なトピックの説明文など多様なジャンルの英文が出題されます。複数の文章(含グラフ・表など)が提示され、合計42問の設問が出されます。文章量は長いものでも300語程度ですが、中高生にとってはやや読み応えがあるものも含まれます。内容は文化、歴史、生物、自然科学など多岐

にわたりますが、専門知識そのものは問われません。設問はMain Idea(要旨)、Factual Information and Negative Fact(事実情報と間違っている情報)、Inference(推測)、Vocabulary in Context (文脈における語彙)、Pronoun Referent(代名詞が指す語句)、Author's Purpose (書き手の目的)、Figurative Language(比喩的表現)などを問う問題が含まれます(公式問題集 p. 13)。

リーディングセクションは50分で42問を解くため、ある程度まとまった量の英文を読み、時間内に複数の設問に答える読解スピードと選択肢の吟味が求められます。文章中には平均的な中高生にとってはやや高度な文法構造や語彙(英検準1級レベルの単語)が含まれることもあるため、知らない

単語がある状態で読解する練習も必要になります。もっとも、文脈から意味を推測できれば内容理解は可能で、知らない専門用語があったとしても大丈夫です。落ち着いて前後関係から推測することが重要といえます。

3. ディスクリプタとスコア別特徴・学習法

TOEFL Junior®では、スコアレンジが4段階の熟達レベルに対応しており、各レベルの習熟度を記述したパフォーマンスディスクリプタが公表されています(Kumon

Institute of Education Co., Ltd., 2018)。以下ではスコアレンジごとに、そのディスクリプタから読み取れる能力の特徴と、各レベルに応じた学習法の提案を示します。

3.1 【文法・語彙セクション (Language Form and Meaning)】

文法・語彙セクション CEFR レベル / Descriptors	
B2 300 280	<p>内容が学術的か一般的かを問わず、難易度の高い文法構造（例：関係詞節など）の意味や使い方をおおむね正確に認識できる。</p> <p>主に学術的な内容で使用される単語を含む幅広い語彙を身に付けている。</p> <p>内容が学術的か一般的かを問わず、文章の効果的な段落構成をおおむね認識できる。</p>
B1 275 250	<p>内容が学術的か一般的かを問わず、基本的な文法構造（例：形容詞の比較級など）の意味や使い方をおおむね正確に認識できるが、難易度の高い文法構造の意味や使い方は必ずしも認識できない。</p> <p>日常的によく使われる一般的な語彙を身につけている。</p> <p>一般的な内容であれば、文章の効果的な段落構成をおおむね認識できるが、学術的な内容では困難となる場合がある。</p>
A2 245 210	<p>一般的な内容であれば、最も基本的な文法構造（例：動詞の現在形・過去形など）の意味や使い方を正確に認識できる場合がある。</p> <p>最も頻繁に使われる、一般的な語彙を身につけている。</p> <p>一般的な内容であれば、文章の効果的な段落構成を認識している場合もあるが、学術的な内容では困難となる場合が多い。</p>
A1 below 210	<p>一般的な語彙を増やしましょう。</p> <p>基本的な文法構造（例：主語と動詞の一致、簡単な前置詞など）に関する知識や使い方をさらに身につける練習をしましょう。</p> <p>文章構成の基本的な仕組みを理解する練習をしましょう。</p>

3.1.1 【CEFR A1 / スコア below 210】

文法・語彙セクション CEFR レベル / Descriptors

A1
below
210

一般的な語彙を増やしましょう。

基本的な文法構造（例：主語と動詞の一致、簡単な前置詞など）に関する知識や使い方をさらに身につける練習をしましょう。

文章構成の基本的な仕組みを理解する練習をしましょう。

一般的な語彙がまだまだ不足し、基本的な文法(主語と動詞の一致、簡単な前置詞の用法など)の理解も十分ではない段階です。文章構成に関しても基本的な理解が必要なレベル、つまりは「初学者」ですので、ここはじっくりしっかり基礎固めが大切です。最頻出の基本語彙(基本600語程度)を絵カードや単語学習アプリを用いて徹底的に

覚えます。また、「主語＋動詞」、「主語＋動詞＋目的語」といったシンプルな文型を、「声に出して」反復練習することが重要です。日常的な出来事を英語で1文ずつ作文し、先生から添削(フィードバック)を受けたりして、自分の誤りを自覚・修正する習慣をつけるのもよいでしょう。

3.1.2 【CEFR A2 / スコア 210-245】

文法・語彙セクション CEFR レベル / Descriptors

A2
245
|
210

一般的な内容であれば、最も基本的な文法構造（例：動詞の現在形・過去形など）の意味や使い方を正確に認識できる場合がある。

最も頻繁に使われる、一般的な語彙を身につけている。

一般的な内容であれば、文章の効果的な段落構成を認識している場合もあるが、学術的な内容では困難となる場合が多い。

このレベルでは、動詞の現在形や過去形といった基本文法の理解が定着できてきたかなという感じでしょう。また頻出の一般的な語彙を一定程度習得できていると思います。しかし、複雑な構文については、未だ理解が難しく、語彙量も十分とはいえません。段落構成についても、一般的な内容であれば部分的に把握できる程度でしょう。

おそらく、文法や語彙の基本的な知識の穴があるため、中学校で習う英文法を改めて單元ごとにしっかりと復習しましょう。例文の音読や瞬間(口頭)英作文を使って、運用力を養うのも大事です。およそ1000語レベルの語彙について定期的に小テスト形式で確認することも効果的です。

3.1.3 【CEFR B1 / スコア 250-275】

B1

275
|
250

内容が学術的か一般的かを問わず、基本的な文法構造（例：形容詞の比較級など）の意味や使い方をおおむね正確に認識できるが、難易度の高い文法構造の意味や使い方は必ずしも認識できない。日常的によく使われる一般的な語彙を身につけている。一般的な内容であれば、文章の効果的な段落構成をおおむね認識できるが、学術的な内容では困難となる場合がある。

基本的な文法構造はおおむね正確に把握できているものの、関係詞節や分詞構文などの高等学校で主に学習する複雑な文法には少し課題が残るといった段階でしょうか。語彙はだいたいついてきたと思うので、一般的な文章の内容把握は問題ないところまで来ているでしょうが、一方で学術的内容の構造的な理解はまだ難しい場合があります。このレベルの学習者の課題は、複雑な構文処理と学術語彙の不足。難しい文法構造を分析的に理解するようにつとめ、それが

できたらシンプルな構文に書き換える練習（パラフレーズ練習）を行いましょう。市販の総合英語の参考書（例として『コーパス・クラウン総合英語』など）が役立ちます。語彙については、大学受験用や英検2級～準1級用の単語帳の集中学習を推奨します。また、理想を言えば、読んだ文章の段落ごとの要約を作成し、自分の言葉で説明することで理解を定着させる練習ができればいいでしょう。

3.1.4 【CEFR B2 / スコア 280-300】

文法・語彙セクション CEFR レベル / Descriptors

B2

300
|
280

内容が学術的か一般的かを問わず、難易度の高い文法構造（例：関係詞節など）の意味や使い方をおおむね正確に認識できる。主に学術的な内容で使用される単語を含む幅広い語彙を身に付けている。内容が学術的か一般的かを問わず、文章の効果的な段落構成をおおむね認識できる。

このレベルでは、学術的または一般的内容にかかわらず、高度な文法構造までおおむね正確に理解できます。また、学術的内容を中心に幅広い語彙を持っており、文章の段落構成も効果的に認識できます。高度な文法や語彙は理解できていますが、人によっては細かなケアレスミスや専門的語彙の微妙なニュアンスの誤解が課題となる

場合があります。TOEFL Junior®の公式問題集などで演習を行い、誤答分析をしてみましょう。類義語についてその語義や語法比較をしてみたり、自分の言葉で易しく表現し直したりすることで、より理解が深まります。英和辞典だけではなく、英英辞典もぜひ活用してみてください。

3.2 【リーディングセクション (Reading Comprehension)】

リーディングセクション CEFR レベル / Descriptors

B2 300 290	<p>表現が明らかでない場合も含め、内容が学術的か一般的かを問わず、趣旨を理解することができる。難易度の高い複雑な英語を用いた文章も含め、内容が学術的か一般的かを問わず、重要ポイントを正確に理解できる。</p> <p>内容が学術的か一般的かを問わず、読む際に、著者が特定の情報を含めた理由を理解するために必要な推測を含めて（例：意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする）、効果的に推測することができる。</p> <p>フィクションに登場する人物の態度や考え方を推測することができる。比喻をおおむね理解でき、複雑な英語を用いた学術的な文章においても、文脈から知らない単語の意味を把握できる。</p>
B1 285 245	<p>表現が明らかであれば、内容が学術的か一般的かを問わず、趣旨を理解できる。</p> <p>文脈が必ずしも明確でなく、知らない単語が含まれていても、内容が学術的か一般的かを問わず、重要ポイントをおおむね特定できる。</p> <p>内容が学術的か一般的かを問わず、著者が特定の情報を含めた理由を理解するために必要な推測を含めて（例：意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする）、的確に推測できる場合がある。</p> <p>フィクションの出来事やあらすじをおおむね特定できる。</p> <p>シンプルな構成の文章において、文脈から知らない単語の意味をおおむね把握できる。</p>
A2 240 210	<p>表現が明らかで、内容が一般的であれば、趣旨を特定できる場合がある。</p> <p>シンプルな英語で文脈が明確であれば、内容が学術的か一般的かを問わず、基本的なポイントを特定できる場合がある。</p> <p>予定表やメニューなど、日常的かつ一般的な語彙を用いた非定型の文章から、基本的な情報をおおむね見つけることができる。</p> <p>平易な文章で、内容が一般的であれば、場合によっては単純な推測を行うことができる。</p> <p>シンプルな構成の文章で、内容が一般的であれば、文脈から知らない単語の意味を把握できる場合がある。</p>
A1 below 210	<p>シンプルかつ明確な英語で書かれた文章の、趣旨と重要ポイントを特定する練習をしましょう。</p> <p>シンプルかつ明確な英語で書かれた文章から、内容を推測できる練習をしましょう。</p> <p>予定表やメニューなど、非定型の文章から基本的な情報を見つける練習をしましょう。</p> <p>知らない単語でも、文脈から意味を把握できる練習をしましょう。</p>

3.2.1 【CEFR A1 / スコア below 210未満】

リーディングセクション CEFR レベル / Descriptors

A1 below 210	<p>シンプルかつ明確な英語で書かれた文章の、趣旨と重要ポイントを特定する練習をしましょう。</p> <p>シンプルかつ明確な英語で書かれた文章から、内容を推測できる練習をしましょう。</p> <p>予定表やメニューなど、非定型の文章から基本的な情報を見つける練習をしましょう。</p> <p>知らない単語でも、文脈から意味を把握できる練習をしましょう。</p>
---------------------------	---

シンプルで明確な英文であっても、趣旨や重要ポイントの理解がまだ難しく感じるでしょう。知らない語に遭遇すると内容理解が著しく低下し、「あれ？何の話を読んでいるんだっけ？」となってしまう段階ですね。ここではいたずらに焦らず、初心者向

けの多読教材を使い、音読を毎日継続して行いましょう。段落ごとに「誰が、どこで、いつ、何をどうした」という話の要点を中心に読み取る練習を習慣づけるのが有効です。挿絵入りのストーリーを用いて「絵を見て内容を予測→実際の英文を読む→自分

で要約する」と言う一連の練習を積むことで、徐々に段落構成や要旨を把握する力を

伸ばしていきましょう。

3.2.2 【CEFR A2 / スコア 210-240】

リーディングセクション CEFR レベル / Descriptors

A2

240
|
210

表現が明らかで、内容が一般的であれば、趣旨を特定できる場合がある。

シンプルな英語で文脈が明確であれば、内容が学術的か一般的かを問わず、基本的なポイントを特定できる場合がある。

予定表やメニューなど、日常的かつ一般的な語彙を用いた非定型の文章から、基本的な情報をおおむね見つけることができる。

平易な文章で、内容が一般的であれば、場合によっては単純な推測を行うことができる。

シンプルな構成の文章で、内容が一般的であれば、文脈から知らない単語の意味を把握できる場合がある。

一般的で表現が明確な文章であれば、趣旨を部分的に特定することが可能なレベルです。シンプルで身近な内容については基本的なポイントを理解でき、予定表やメニューなど、非定型な形式の文章からも基本的情報を拾えます。ですが、複雑な推論や細部の理解にはまだまだ課題があります。主旨と詳細な情報の混同を起こす学習者も

多いかと思しますので、グラフや表などから必要な情報を的確に探し出す技術、すなわち「スキヤニング」の習得が鍵です。指示語(it, this, they等)が何を指すのか正確に理解したり、否定表現(not, little, hardly, rarely等)を見落とさないよう、読解中に意識的に英文にマークをつけていくことを癖にしてもいいかもしれません。

3.2.3 【CEFR B1 / スコア 245-285】

リーディングセクション CEFR レベル / Descriptors

B1

285
|
245

表現が明らかであれば、内容が学術的か一般的かを問わず、趣旨を理解できる。

文脈が必ずしも明確でなく、知らない単語が含まれていても、内容が学術的か一般的かを問わず、重要ポイントをおおむね特定できる。

内容が学術的か一般的かを問わず、著者が特定の情報を含めた理由を理解するために必要な推測を含めて(例：意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする)、的確に推測できる場合がある。

フィクションの出来事やあらすじをおおむね特定できる。

シンプルな構成の文章において、文脈から知らない単語の意味をおおむね把握できる。

表現が明確な文章であれば、趣旨を正しく理解できます。文脈が曖昧であったり未知語が含まれていたりしても、重要ポイントをおおむね特定できるようになってきたはずですが、ただし、抽象的な推論や難解な語彙の推測はまだ課題が残ります。よって、この段階では、段落のトピックセンテンスを特定し、文章の論理構造を把握するため

のマッピング作業を読解に採り入れてはどうでしょうか。また、未知語が出てきたら、文脈を手がかりに意味を推測し、辞書で検証する学習を定着させます。また、「なぜ筆者はこの情報をここに記述したのか？」といったことを推論する問題を集中的に練習し、論理展開を追う力を身につけましょう。

3.2.4 【CEFR B2 / スコア 290-300】

リーディングセクション CEFR レベル / Descriptors

B2

300
|
290

表現が明らかでない場合も含め、内容が学術的か一般的かを問わず、趣旨を理解することができる。難易度の高い複雑な英語を用いた文章も含め、内容が学術的か一般的かを問わず、重要ポイントを正確に理解できる。

内容が学術的か一般的かを問わず、読む際に、著者が特定の情報を含めた理由を理解するために必要な推測を含めて（例：意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする）、効果的に推測することができる。

フィクションに登場する人物の態度や考え方を推測することができる。比喻をおおむね理解でき、複雑な英語を用いた学術的な文章においても、文脈から知らない単語の意味を把握できる。

学術的内容であれ一般的内容であれ、趣旨や重要ポイントを正確に把握できます。複雑な構文や表現があっても推論を適切に行い、比喻表現や文脈から未知語の意味を推測する力も十分にあります。だからこそ、細部の取りこぼしをしないように注意力を

高めたり、比喻表現や含意(アイロニーなど)の解釈の精度をさらに上げることが課題です。社説や科学記事など洗練されたテキストを用いて、様々な表現の効果を分析するなどして、書き手の「意図」を読み解く練習を重ねましょう。

4. スコア帯別誤答パターン分析と対処法

それではここで、公式問題集の問題を素材にしなが、スコア別の学習者の陥りやす

い誤答パターンの分析と対処方法を考えてみたいと思います。

4.1 【文法・語彙セクション (Language Form and Meaning)】

4.1.1 【CEFR A1 / スコア below 210】

このレベルの学習者は基本的な文法事項(5文型、主語と動詞の一致、時制など)を理解することに課題があります。

例) TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] p. 64 Question 1 (解答・解説 p. 36)

ここでは、基本文型(SVO)の理解が問われているだけなのですが、a bake saleがholdの目的語となっていることがわからなければ正解できません。対処法としては、中学校レベルの基本的な時制や文型を繰り返し練習し、文法事項を一つずつ丁寧に定着させることが重要です。

Questions 1–4 refer to the following notice.

The environmental club is holding

1. (A) a bake sale
(B) a bake sale is
(C) and a bake sale
(D) that a bake sale

next Monday at 3 P.M. in the

hallway outside of the cafeteria. All the money

2. (A) raised
(B) raising
(C) to raise
(D) was raised

will go to the

International Nature Foundation,

3. (A) either
(B) what
(C) any
(D) an

organization that protects endangered

animals. The sale will

4. (A) save
(B) select
(C) feature
(D) purchase

delicious cookies, cupcakes, muffins, and more.

Please stop by!

問題1～4は以下のお知らせに関するものです。

環境クラブは、次の月曜日の午後3時にカフェテリアの外の廊下で **1. ベイクセール** を開催します。**2. 集められた** すべてのお金は、絶滅の危機に瀕した動物を保護する **3. 機関** である国際自然財団に寄付されます。セールはおいしいクッキー、カップケーキ、マフィン、そのほかいろいろなものを **4. 売りにする** 予定です。ぜひ立ち寄ってください！

解説

1. 文法問題です。正解は **(A) a bake sale** です。この問題は、動詞「is holding」の目的語となる名詞句を問うものです。選択肢(B)は〈名詞句+動詞〉です。選択肢(C)は〈接続詞+名詞句〉です。選択肢(D)は〈関係代名詞+名詞句〉です。これらの文法構造は動詞「is holding」の目的語として機能することができません。

2. 文法問題です。正解は **(A) raised** です。この問題では、「money (お金)」という語を修飾する正しい動詞の形を選ぶことが求められています。過去分詞「raised」は、その前の名詞「money」を説明または修飾するので、形容詞として機能します。選択肢(B)は現在分詞「raising」です。選択肢(C)は動詞の不定詞形「to raise」で、(D)は受動態「was raised」です。これらの「raise」の形はどれも、この文の中で文法的に、また意味的に機能しません。

3. 語彙問題です。正解は **(D) an** です。この問題では、正しい限定詞を選ぶことが求められていて、続く名詞句につけられるのは、不定冠詞「an」です。名詞句「an organization that protects endangered animals (絶滅の危機に瀕した動物を保護する機関)」が、直前の「International Nature Foundation (国際自然財団)」を指し、それが何なのか説明しています。言及されているのはたった1つの機関なので、選択肢(A)「either」と選択肢(C)「any」は、文の中で意味を成しません。選択肢(B)「what」は「何の機関」となり意味を成しません。

4. 語彙問題です。文の意味が通るような語彙を選ぶことが求められています。正解は **(C) feature** で、何かを特に目立たせたり強調したりすることを意味します。この文は、主語「sale (セール)」とともに意味を成す動詞を必要としています。「save」、「select」、「purchase」という動詞は、主語「sale」とともに用いられた場合、意味が成立しません。よって、選択肢(A)、(B)、(D)はこの文では意味を成しません。

4.1.2 【CEFR A2 / スコア 210-245】

このレベルでは、基本的な文法事項の理解はありますが、動詞の形(原形・現在分詞・過去分詞)や時制の微妙な使い分けに誤りが見られます。

例) TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] p. 65 Question 5 (解答・解説 p. 37)

ここでは、「なんとなく語句の響きがいいから」などという理由で、誤答である(B) better feelingを選ぶことがあります。また、接続詞の使い方(Question 6 「However」など)がわかっていないために、正解を選べないことがあります。対処法として、動詞の活用や接続詞の正しい使い方などをもう一度基本に立ち返って整理し、例文を使った反復練習を行いましょう。

Questions 5–8 refer to the following e-mail.

Thanks for your e-mail. I am finally starting

5. (A) to feel better.
(B) better feeling.
(C) have felt better.
(D) feeling is better.

6. (A) Instead,
(B) However,
(C) Otherwise,
(D) As a result,

I will probably miss school again tomorrow since the doctor said I

should rest. Could you please tell me

7. (A) which I missed
(B) I have missed it
(C) what I have missed
(D) those I was missing

in biology class this week

so I can work on our assignments? I would really

8. (A) satisfy
(B) suggest
(C) anticipate
(D) appreciate

it.

Thanks,

Ricardo

問題 5～8 は以下のメールに関するものです。

メール、ありがとう。やっと **5. 気分がよくなり** 始めています。 **6. しかし**、お医者さんが休息をとるべきだと言ったので、私はたぶん明日もまた学校を休みます。私たちの課題に取り組むことができるように、今週の生物の授業で **7. 私が聞き逃したことを** 教えてもらえますか？ そうしてもらえるとほんとうに **8. ありがたいです**。よろしく。Ricardo

解説

5. 文法問題です。正解は **(A) to feel better** です。この問題は、現在進行形の動詞に続く形を問うものです。動詞 start は、「～し始める」という場合、目的語に不定詞か動名詞を用います。よって、「to feel better」が唯一の正解です。他の選択肢はどれも、このセンテンスの中で「am starting」の目的語として機能することができる文法構造を含んでいません。

6. 語彙問題です。正解は **(B) However** です。この問題では、このセンテンスと前のセンテンスを正しくつなぐ接続副詞を選ばなければなりません。この場合、「however」は「but (しかし)」と同じような逆接の意味を持っており、文脈が通ります。選択肢 (A)、(C)、(D) は、どれもこの文脈にはふさわしくありません。

7. 文法問題です。正解は **(C) what I have missed** です。この問題では、動詞「tell」の直接目的語を選ばなければなりません。選択肢 (C) は、動詞の目的語として機能し、意味も文脈に合う節です。選択肢 (A) は、このセンテンスに文法的に適さない関係詞節です。選択肢 (B) は、it の指す内容が不明なので意味が通りません。選択肢 (D) は、このセンテンスや前のセンテンス中のどの語も指していません。

8. 語彙問題です。正解は **(D) appreciate** です。この問題では、センテンスの意味が通るものにする語彙を選ぶことが求められています。このセンテンスでは、「please」や「thanks」といった語を使っているメールの全体的な文脈の中で、動詞「appreciate」が書き手の感謝の気持ちを正確に表しています。選択肢 (A)、(B)、(C) はこのセンテンスでは意味を成しません。

4.1.3 【CEFR B1 / スコア 250-275】

中級レベルの学習者は日常的な文法項目については概ね理解していますが、複雑な構文(関係詞節、受動態など)や語彙の微妙なニュアンスを取り違えることがあります。

この問題では、時制や動詞の形および態を混同し、(D) was just startedなどを選択する場合があります。

例) TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] p. 66 Question 9 (解答・解説 p. 38-39)

Questions 9–12 refer to the following announcement.

The French club

9. (A) just starts
(B) just starting
(C) has just started
(D) was just started

a lunch group in the cafeteria. On Tuesdays and

Thursdays during lunch, students who wish to practice their French should

10. (A) hand in
(B) take after
(C) give up
(D) look for

the table with the French flag. All conversations at the French table

11. (A) completely will be held
(B) will completely held be
(C) held completely will be
(D) will be held completely

in French.

12. (A) The Spanish club
(B) It is the Spanish club
(C) While the Spanish club
(D) Because the Spanish club

will be

starting a similar group next month.

9~12

問題 9～12 は以下の発表に関するものです。

フランス語クラブは、カフェテリアでランチグループを **9. 始めたばかりです**。毎週火曜日と木曜日の昼食時に、フランス語を練習したい生徒はフランス国旗のあるテーブル **10. を探す** べきです。フランス語テーブルでのすべての会話は **11. 完全に** フランス語で **行われます**。**12. スペイン語クラブ** は来月、同じようなグループを始める予定です。

解説

9. 文法問題です。この問題は動詞の時制の知識を問うものです。正解は **(C) has just started** です。この発表の文脈から、クラブが最近始まって、現在活動していることが明らかです。よって、現在完了形の動詞「has just started」が必要です。選択肢 (A) は単純現在時制です。選択肢 (B) は現在進行時制の一部で、選択肢 (D) は受動態です。これらの選択肢のどれも活動の時制を正しく表していません。

10. 語彙問題です。正解は (D) look for です。この問題では、センテンスの意味が通るものにする句動詞を選ぶことが求められています。生徒たちがクラブの一員になるためには、正しいテーブルを探すべきだと言われているので、「to try to find (見つけようとする)」を意味する「look for」だけがこのセンテンスに合致します。その他の選択肢はこのセンテンスで正しい意味を表していません。

11. 文法問題です。正解は (D) will be held completely です。このセンテンスは、受動態構文 (be 動詞 + 過去分詞) で使われる適切な語順を問うものです。completely は文尾の in French を修飾するので、選択肢 (D) だけがこのセンテンスにおいて正確で、なおかつ意味を成します。

12. 文法問題です。正解は (A) The Spanish club です。この問題は、センテンスの主語となる名詞句を問うものです。選択肢 (B) は文全体で意味を成さないで、センテンスの主語になりえません。選択肢 (C) は副詞節を導く接続詞 while で始まっているので文として成立しません。選択肢 (D) は因果関係を伝える接続詞「because」で始まっています。この場合、「because」は原因を表しますが、結果は何も述べられていません。よって、選択肢 (D) は不完全なセンテンスとなります。

また態の問題でいえば、語彙問題でも同様の出題がされていたりします。

例) TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] p. 69 Question 25 (解答・解説 pp. 40-41)

受動態が正確にわかっていないと誤答してしまうでしょう。対処法として、複雑な構文を〈 〉や () などの記号をつけながら分析する練習や、文構造を明確に理解するための例文暗記を推奨します。

Questions 19–26 refer to the following student essay.

The onion is a well-known ingredient

19. (A) found
(B) finding
(C) to find it
(D) that found

in many national cuisines.

20. (A) It also
(B) Is also
(C) It is also
(D) Also, despite its

among the oldest foods known to have been eaten by humans.

Questions 19–26 refer to the following student essay.

The onion is a well-known ingredient

19. (A) found
(B) finding
(C) to find it
(D) that found

in many national cuisines.

20. (A) It also
(B) Is also
(C) It is also
(D) Also, despite its

among the oldest foods known to have been eaten by humans.

21. (A) Sometimes
(B) Whenever
(C) However
(D) During

archaeologists manage to collect bits of food from prehistoric objects,

tiny pieces of onion have often been found. Determined to be

22. (A) many
(B) more of
(C) much as
(D) more than

5,000 years

old, these first onions were probably wild plants

23. (A) instead
(B) whether
(C) although
(D) rather than

vegetables grown by

farmers. There are two reasons

24. (A) for
(B) how
(C) why
(D) it was

the onion has been so popular throughout

history: it is easy to grow and it

25. (A) can store it
(B) to be stored
(C) able to store
(D) can be stored

for long periods of time without

spoiling. Thanks to the protection provided by the onion's dry outer layer, the inside can remain

26. (A) fresh
(B) recent
(C) passive
(D) harmless

for many months.

19~26

問題19~26は以下の生徒のエッセイに関するものです。

タマネギは多くの国民食に **19. 見られる** よく知られた材料です。 **20. それはまた** 人間によって食べられたことで知られている最も古い食べ物の一つです。考古学者が先史時代のものから食べ物のかげらを何とかして集める **21. ときはいつでも**、タマネギの小片がしばしば発見されています。5,000年 **22. 以上** 前のものと特定された、これら最初のタマネギは、おそらく農家によって育てられた野菜 **23. というよりむしろ** 野生の植物だったのでしょう。タマネギが歴史を通してとても人気があり続ける **24. (のには)** 2つの理由があります。育てるのが簡単で、腐敗することなく長期間 **25. 保存できます**。タマネギの乾燥した外層による保護のおかげで、内部は何カ月もの間、 **26. 新鮮な** ままでいられます。

解説

19. 文法問題です。正解は **(A) found** です。この問題では、「ingredient (材料)」を説明する形容詞句の一部として、受動の意味を表す過去分詞「found」を選びます。その他の選択肢はどれも、この形容詞句を完成させる正しい文法構造ではありません。

20. 文法問題です。正解は **(C) It is also** です。この問題では、正しい主語と動詞を選ぶことが求められています。この文では、主語は前の文の主語「the onion (タマネギ)」を指しているため、正しいのは主格代名詞の「it」です。選択肢 **(A)** には、正しい代名詞がありますが、必要な動詞「is」がありません。選択肢 **(B)** には、動詞「is」が含まれていますが、主格代名詞「it」がありません。選択肢 **(D)** には、主格代名詞の所有格「its」が含まれていますが、所有の対象となるものがないため、ここに必要な代名詞ではありません。

21. 語彙問題です。正解は (B) **Whenever** です。この問題では、センテンスの意味が通るようなものにする語彙を選ぶことが求められています。このセンテンスは2つの完全な節からできています。接続詞「**whenever**」を入れれば「時」を表す副詞節ができるので、後の節とつながります。選択肢 (A) と (C) はどちらも、センテンスの1つ目の節とともに意味は成しますが、接続詞ではなく副詞なので、1つ目と2つ目の節をつなげることができません。選択肢 (D) は、前置詞なので、あとに節の形を置けません。

22. 文法問題です。正解は (D) **more than** です。この問題は、センテンスで正しい比較級の形容詞を問うものです。「**more than**」が「years (年)」に対する正しい比較級の形です。選択肢 (B) 「**more of**」は、比較級の形容詞「**more**」を含んでいますが、前置詞「**of**」はふつう比較級の形では使われず、「years」に文法的に適合しません。選択肢 (A) 「**many**」は形容詞ですが、比較級の形容詞ではありません。選択肢 (C) 「**much as**」は、比較級の形容詞ではなく接続詞なので、正解になりえません。

23. 語彙問題です。正解は (D) **rather than** です。選択肢 (A) 「**instead**」は「**rather**」に似た意味を持つ副詞ですが、前置詞「**of**」が必要です。選択肢 (B) と (C) はともに、このセンテンスで文法的にも意味的にも機能しない接続詞です。

24. 語彙問題です。正解は (C) **why** です。この問題では、前後の2つの節を結びつける語を選ぶことが求められています。関係副詞「**why**」は、理由について何かを説明する節を導くので文の形が成立します。選択肢 (B) 「**how**」もまた副詞ですが、「方法」を示す節を導くので、このセンテンスでは意味を成しません。選択肢 (A) は前置詞で、(D) はこのセンテンスで文法的にも意味的にも機能しない〈主語＋動詞〉の節です。

25. 文法問題です。正解は (D) **can be stored** です。この問題では、主語 **it** に続くものとして受動態の動詞が必要です。選択肢 (A) と (C) は受動態ではなく、このセンテンスで文法的に機能しません。選択肢 (B) は、「**it**」に続くことができる動詞の形ではありません。

26. 語彙問題です。正解は (A) **fresh** です。この問題では、センテンスの意味が通る形容詞を選ぶことが求められています。腐ったり破損したりしていないという意味である「**fresh**」は、前文中の「**it can be stored for long periods of time without spoiling** (腐敗することなく長期間保存できる)」を支持しています。「新しい」または「最新のこと」を意味する選択肢 (B) 「**recent**」は、「**fresh**」と似た意味を持っていますが、必ずしも腐ったり破損したりしていないという意味を伝えません。選択肢 (C) と (D) はともに、このセンテンスと意味が合致しない形容詞です。

4.1.4 【CEFR B2 / スコア 280-300】

上級レベルの学習者は高度な文法構造を理解していますが、細かな文法規則や特殊な表現でミスをすることがあります。

例) TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] p. 67 Question 17 (解答・解説 pp. 39-40)

例えば、このような冠詞や限定詞の微妙なニュアンスを問う問題で誤ってしまう可能性があります。対処法として、より複雑な英文を精読し、細かな文法事項を意識的に分析・確認する練習を重ね、特に冠詞や限定詞の使い分けに注意を払う練習を行いましょ

Questions 13–18 refer to the following article from a magazine about technology.

Some people depend on clothing

13. (A) their keeping
(B) they are kept
(C) to keep them
(D) it keeps them

safe while they are working.

Astronauts

14. (A) by working
(B) they work
(C) who work
(D) are working

outside of a spacecraft must wear special space suits to

protect their bodies.

15. (A) Even a tiny hole in the space suit
(B) The space suit has even a tiny hole in it
(C) There is even a tiny hole in the space suit
(D) Whether in the space suit, even a tiny hole

could create a loss

of pressure and cause a dangerous situation. In recent years scientists

16. (A) develop
(B) developing
(C) are developed
(D) have developed

space suits made of high-tech fabrics and gel. If the space suit gets a

small hole in it, the gel quickly spreads into

17. (A) a
(B) the
(C) any
(D) some

hole and closes it up. These space

問題 13 ~ 18 は以下の科学技術についての雑誌の記事に関するものです。

仕事をしている間、**13. 自分を安全に保つために**、衣服に頼る人々がいます。宇宙船の外で **14. 作業する** 宇宙飛行士は、自分たちの身体を保護するために特別な宇宙服を着なければなりません。 **15. 宇宙服のとても小さな穴でさえ**、減圧をまねき、危険な状況を引き起こす可能性があります。近年、科学者は、ハイテクの生地とジェルでできた宇宙服を **16. 開発しました**。もし宇宙服に小さな穴が開いたら、ジェルがすばやく **17. その** 穴に広がって行き、それをふさぐのです。これらの宇宙服はまた、**18. それら** の中にとても小さなコンピューターが入っています。もし服に大きな穴ができたなら、そのとても小さなコンピューターは宇宙飛行士にすばやく安全な場所に移動するように警告を送信します。

解説

13. 文法問題です。正解は **(C) to keep them** です。この問題は、「depend on clothing (衣服に頼る)」を修飾する不定詞の副詞句「to keep them」を選ばなくてははいけません。その他の選択肢はどれも、衣服がどのように人々を安全に保つかを文法的に正しい形で表していません。

14. 文法問題です。正解は **(C) who work** です。この文は **must wear** が動詞で、その前全部が主語となります。主語を構成する形として適切なのは選択肢 **(C)** で、どの宇宙飛行士が特別な宇宙服を着なければならないかを明確にする限定的関係詞節です。その他の選択肢はどれも、意味的にも文法的にも宇宙飛行士について言及する構造を含んでいません。

15. 文法問題です。正解は **(A) Even a tiny hole in the space suit** です。この問題は、センテンスの主語となる長い名詞句を問うものです。選択肢 **(B)** と **(C)** はそれ自身で完全なセンテンスとなっているので、このセンテンスの主語になりえません。選択肢 **(D)** は副詞句で始まるセンテンスの一部です。選択肢 **(B)**、**(C)**、**(D)** はこのセンテンスの主語として文法的に機能することができません。

16. 文法問題です。正解は **(D) have developed** です。この問題では、この文脈で正しい動詞の時制を識別することが求められています。このセンテンスは「recent years (近年)」の宇宙服の開発について述べていて、宇宙服は今日もなお使用されています。よって、過去と現在をつなぐ動詞「develop」の現在完了時制が使われるべきです。選択肢 **(A)** は現在形です。選択肢 **(B)** は動詞の現在進行形の一部で、選択肢 **(C)** は受動態です。選択肢 **(D)** だけが、この文脈で正しい時間軸を含んでいます。

17. 語彙問題です。正解は **(B) the** です。この問題では、センテンスの意味が通る語を選ぶことが求められています。このセンテンス中で前述の「hole (穴)」を指し、意味が成立するのは定冠詞「the」だけです。選択肢 **(A)** は前述の特定のものを指さないのて意味を成しません。選択肢 **(C)** と **(D)** は、どちらもものの量を示す数量詞です。いずれも、このセンテンスで正しくありません。

18. 文法問題です。正解は **(D) them** です。この問題では、センテンスに文法的に適合する語を選ぶことが求められています。このセンテンスの主語は「space suits (宇宙服)」で、「in」は目的語が必要なので、正解は、前述の「space suits」を正しく指す目的格代名詞の複数形「them」でなければなりません。選択肢 **(A)** は、前述のセンテンスの主語を正しく指すことができない単数形の代名詞です。選択肢 **(B)** は単数のものを表す指示代名詞なので、正解になりえません。選択肢 **(C)** は、センテンスの目的語ではなく主語として使われる主格代名詞の複数形「they」です。よって、正解になりえません。

4.2 【リーディングセクション (Reading Comprehension)】

4.2.1 【CEFR A1 / スコア below 210】

このレベルの学習者は基礎的な単語の意味や文章の主題把握に課題があります。

例) TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] pp. 76-77 Question 1 (解答・解説 pp. 39-40)

ここで本文の1行目のA friend of mine told me about the Student Science Institute and your summer classes for students.

からinstituteという「目に飛び込んできた(ちょっと難しい)単語」に注意を奪われて、(A) He wants directions to the institute. を安易に選んでしまう、というようなレベルです。このような誤答は、全体の文脈が理解できないことに起因します。対処法として、本文に繰り返し登場する主題に関係するキーワード(この問題ではsummer classes)をマークしながら読む練習を行いましょう。

4.2.2 【CEFR A2 / スコア 210-240】

このレベルの学習者は、一般的な文章から基本的な情報を特定できますが、細部情報や指示語の理解に課題があります。

例) TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] pp. 76-77 Question 3 (解答・解説 pp. 39-40)

Q3(Benのメール)にある「visit」という語の意味を文脈(ここでは、本文の6行目 When I am there, I like to take walks with my grandparents along the beach.など)から正しく推測できず、誤答するケースが多く見られます。対処法として、指示語や否定語を読み飛ばさないよう、本文だけでなく設問にも意識的に注意を払い、丁寧に本文と確認・照合する習慣を持ちましょう。

Questions 1–4 are about the following e-mail.

To: The Student Science Institute info@ssi.org
From: Ben Mason bmason@starnet.com
Date: March 12

I am a student at Avon Middle School. A friend of mine told me about the Student Science Institute and your summer classes for students. I am interested in studying the ocean. When I go to university, I plan to learn all about the animals and plants that live in the sea. Every year, my family goes to visit my grandparents. Their house is very close to the seashore. When I am there, I like to take walks with my grandparents along the beach. I try to identify seashells and seaweed. My parents gave me a book that helps me learn about the different kinds of plants and animals I find. If you have summer classes that teach students about ocean life, please send me some information about them.

Sincerely,

Ben Mason

1. Why is Ben writing to the Student Science Institute?

- (A) He wants directions to the institute.
- (B) He wants help identifying a sea animal.
- (C) He wants to know the author of a book.
- (D) He wants information about summer classes.

2. What detail about his university plans does Ben mention?

- (A) What subject he wants to study
- (B) When he will be ready to attend
- (C) How his parents will help him
- (D) Which university he hopes to go to

3. In line 4, the word visit is closest in meaning to _____.

- (A) find out
- (B) help with
- (C) stay with
- (D) watch over

4. What does Ben do with his grandparents?

- (A) Go fishing
- (B) Take walks
- (C) Read stories
- (D) Help make dinner

問題1~4は以下のメールに関するものです。

宛先： The Student Science Institute info@ssi.org
 差出人： Ben Mason bmason@starnet.com
 送信日時： 3月12日

私はAvonミドルスクールの生徒です。友人の1人が、学生科学研究所と生徒向けの夏期講習について教えてくれました。私は海洋の勉強に興味があります。大学に行ったら、海にすむ動植物についていろいろ学ぶつもりです。毎年、私の家族は祖父母の家に泊まりに行きます。彼らの家は海岸のとても近くににあります。そこにいるとき、私は海岸沿いを祖父母と散歩するのが好きです。貝殻や海藻の種類を見分けようとしています。両親は、私が見つかるさまざまな種類の動植物について学ぶのに役立つ本をくれました。もし生徒に海の生き物について教える夏期講習があれば、情報をお送りください。

よろしくお願ひします。

Ben Mason

1. Benはなぜ、学生科学研究所にメールを書いていますか？

- (A) 研究所への道順が知りたい。
- (B) 海の生き物を特定するのに援助がほしい。
- (C) 本の著者が知りたい。
- (D) 夏期講習についての情報がほしい。

4.2.3 【CEFR B1 / スコア 245-285】

中級レベルでは、基本的な情報の特定は可能ですが、抽象的な推論や複数の情報を統合する設問で誤答が起きやすくなります。

例) TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] pp. 80-81 Question 12 (解答・解説 pp. 49-51)

Q12. 「次に何が起こるか？」という推論問題に対し、本文の最後の2段落でMirandaが「おそらくDianaは1人で学校に行くことになるだろう」と述べていて、一方語り手の

Dianaは、姉のいない一日がどのようなものになるかを考えている、という複数の情報を相互的に判断できずに、誤答を選んでしまうことが考えられます。時には、文中の細部の具体的な情報に引きずられ、本来の目的を見失ってしまうこともありうるでしょう。対処法として、本文の情報をもとに推論する練習を強化するよう意識するとともに、筆者の意図を確認するために、冒頭と結尾部分に特に注意して読み取る練習を重ねましょう。

Questions 9–12 are about the following story.

When I opened my eyes, Miranda was already awake. To my disappointment, she was wearing a blue shirt. Miranda and I have an agreement. Since it is so difficult for people to tell us apart, we have agreed not to dress alike.

Line “I was going to wear blue today,” I said.

5 “You should have gotten out of bed earlier,” Miranda replied. “Then you could have been the first dressed.” She looked tired, and I could tell she was grumpy and did not want to be bothered this morning.

“Maybe I’ll wear blue anyway,” I said.

10 But Miranda knew that I didn’t mean it. We both knew that dressing in the same color would confuse people. When we were little, Miranda and I thought it was funny when people mixed us up. We would giggle when someone called me by her name or referred to her as Diana.

In the past, we had even tried to mislead people as a joke, like in our dance class when we were six years old. For several classes, we had convinced the teacher that I was
15 Miranda. Just when the poor teacher thought she knew who was who, Miranda and I had switched back to our real names.

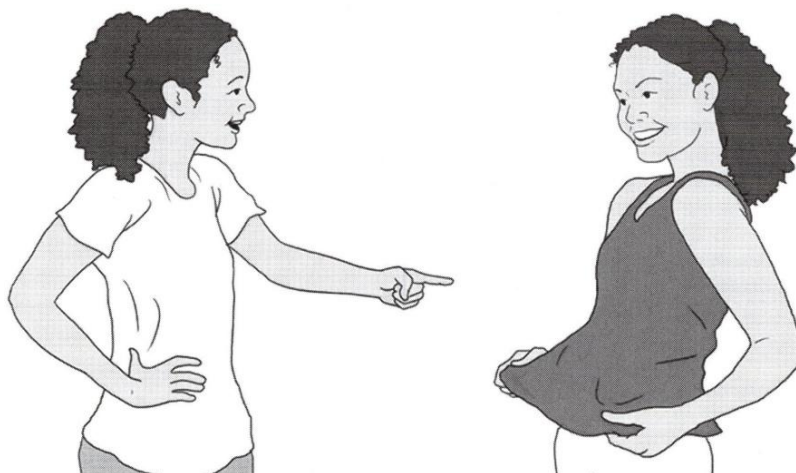
What was funny when we were six years old was annoying now. I was tired of politely correcting teachers who called me Miranda. And at least once a day, Miranda’s best friend, Tanya, would rush over and start to talk to me, even though we don’t know
20 each other well. Sometimes even our own father looked and waited a moment before talking to one of us.

I turned to look at Miranda as I got out of bed. She still looked tired as she slowly brushed her hair. Then, she sat back down on her bed, putting her hand to her head. “Actually, I don’t feel well,” she said.

25 “Are you sick?” I asked with concern.

“I think it’s just a cold,” Miranda answered. “But my head does ache. I think you’ll be going to school without me today. It looks like you can wear your blue shirt after all.”

My clothes didn’t matter to me that much, however. I thought about the day ahead at school without Miranda. I knew that when everyone learned that she was at home sick,
30 nobody would mistake me for her. Strangely, I also knew that I would miss being called by her name.



9. Which title best summarizes the story?

- (A) Miranda's Mistake
- (B) Fooling Friends at School
- (C) The Battle over the Blue Shirt
- (D) Twin Sisters and Close Friends

10. In line 11, the word giggle is closest in meaning to _____.

- (A) mistake
- (B) explain
- (C) appear
- (D) laugh

11. In line 18, how does the narrator probably feel when talking about "politely correcting teachers"?

- (A) Frustrated that they often call her by the wrong name
- (B) Disappointed that she looks so much like Miranda
- (C) Angry that they do not think she is funny anymore
- (D) Afraid that she often annoys them

12. What will most likely happen next in the story?

- (A) The narrator will go to school alone.
- (B) The narrator will go to dance class with her sister.
- (C) Both girls will wear the same color shirt to school.
- (D) The narrator will stay home to take care of her sister.

9~12

問題9～12は以下のストーリーに関するものです。

私が目を開けると、Mirandaはすでに目を覚ましていました。がっかりしたことに、彼女は青色のシャツを着ていました。Mirandaと私にはある取り決めがあります。他の人が私たちを見分けることがとても難しいので、私たちは似たような服装をしないことに同意していました。

「今日は私が青色の服を着ようとしていたの」と私は言いました。

「もっと早くベッドから出るべきだったのに」とMirandaは答えました。「そうすれば、あなたが先に服を着られたでしょう」。彼女は疲れて見え、機嫌が悪くて今朝はわずらわされたくないと思っていることがわかりました。

「とにかく青色の服を着ようかな」と私は言いました。

しかし、Mirandaは私が本気でないことがわかっていました。私たちは2人とも、同じ色の服を着ることが周りを混乱させることを知っていました。幼いころ、Mirandaと私は、人々が私たちの見分けがつかないとき、おもしろいと思いました。誰かが私を彼女の名前で呼んだり、彼女のことをDianaと言ったりするとき、私たちはくすくす笑ったものでした。

過去に、6歳のときのダンスクラスなどで、私たちは冗談で人をだまそうとしたことさえありました。数回のレッスンの間、私たちは先生に、私がMirandaだと思わせました。かわいそうな先生がちょうど誰が誰なのかわかったとき、Mirandaと私は自分の本当の名前に戻っていました。

6歳のときにはおもしろかったことが、今やいらいらすることになりました。私をMirandaと呼ぶ先生たちを礼儀正しく訂正することにうんざりしていました。それに、1日に少なくとも1回は、Mirandaの親友のTanyaが、お互いをよく知らない間柄なのに、駆け寄ってきて私に話し始めたものでした。時には、私たち自身の父親でさえ、私たちの一方に話しかける前にしばらく様子をうかがっていました。

ベッドから出るとき、私は振り返ってMirandaを見ました。ゆっくりと髪にブラシをかけながら、彼女はまだ疲れているようでした。そして、手を頭にあてながら、彼女はベッドに座り直しました。「実は、気分がよくないの」と彼女は言いました。

「病気なの？」と私は心配しながら尋ねました。

「ただの風邪だと思うわ」とMirandaは答えました。「でも、頭が痛い。あなたは今日、一人で学校に行くことになると思うわ。結局のところ、あなたは青色のシャツを着ることができそうね。」

しかし、私の服装はそれほど重要ではありませんでした。私はMirandaのいないその日の学校でのことを考えました。彼女が病気で家にいることをみんなが知ったとき、誰も私を彼女と間違えることはないだろうとわかっていました。不思議なことに、私はまた、彼女の名前で呼ばれなくてさみしく思うだろうとわかっていました。

9. このストーリーを最もよくまとめている題名はどれですか？

- (A) Mirandaの失敗
- (B) 学校で友人をだますこと
- (C) 青色のシャツをめぐる争い
- (D) 双子の姉妹で親友

10. 11行目の単語giggleに最も近い意味を持つのは_____。

- (A) mistake (～を間違う)
- (B) explain (～を説明する)
- (C) appear (現れる)
- (D) laugh (笑う)

11. 18行目で、語り手が「先生たちを礼儀正しく訂正する」ことについて話しているとき、おそらくどんな気持ちでしょうか？

- (A) 彼らがしばしば彼女を間違った名前で呼ぶことにいらいらしている
- (B) Mirandaにとってもよく似ていることにごっかりしている
- (C) 彼らがもう自分のことをおもしろくないと思っていることに腹をたてている
- (D) 彼らをしばしば困らせることを恐れている

12. このストーリーではこの後、何が起こると考えられますか？

- (A) 語り手は1人で学校に行く。
- (B) 語り手は姉〔妹〕と一緒にダンスクラスに行く。
- (C) 両方の女子が同じ色のシャツを着て学校に行く。
- (D) 語り手は姉〔妹〕の面倒をみるために家にいる。

解説

9. 要旨をつかむ問題です。このストーリーの主題は、2人の姉妹がこれまでの人生でずっと親密な関係を保ってきた双子であるということなので、正解は(D) 双子の姉妹で親友、です。選択肢(A)、(B)、(C)はすべて、ストーリーの中で単発の出来事を表していますが、ストーリーの全体的な主題を捉えていないので、あてはまりません。

10. 同義語を選ぶ問題です。11行目の問題の対象となっている単語は「giggle」で、「laugh(笑う)」という意味なので、正解は(D) laugh、です。同パラグラフのその前の文で、この双子は人々が自分たちを混同したときにおもしろいと思ったと述べられています。選択肢(A)、(B)、(C)はこの文脈では意味を成さないで、誤りです。

11. 推測する問題です。17行目で、Dianaは、幼いころ人々が姉妹を混同することがおもしろかったが、今や彼女にとっていらいらすることになったと述べています。よって、正解は(A) 彼らがしばしば彼女を間違った名前と呼ぶことにいらいらしている、です。ストーリーに含まれる詳細から連想しそうな内容ですが、選択肢(B)、(C)、(D)は述べられていないので誤りです。

12. 推測する問題です。最後の2つのパラグラフで、Mirandaは、Dianaがおそらく1人で学校に行くことになるだろうと述べ、語り手のDianaは、姉〔妹〕なしの一日がどのようなものになるかを考えています。よって、正解は(A) 語り手は1人で学校に行く、です。ダンスクラスは彼女たちが幼いころにしていたこととして述べられているだけなので、選択肢(B)はあてはまりません。2人のうち片方だけが学校へ行くので、選択肢(C)は誤りです。語り手は姉〔妹〕と一緒に家にいる可能性に触れていないので、選択肢(D)は誤りです。

4.2.4 【CEFR B2 / スコア 290-300】

上級レベルでは、複雑な文章の趣旨を正しく把握でき、筆者の意図の推論も可能ですが、細部の情報処理でケアレスミスが生じます。

例) TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] pp. 88-89 Question 40、Question 38 (解答・解説 pp. 49-51)

Q40(Ellenの手紙)に見られる「NOT」設問で否定をうっかりと見落とし、本文内の正しい情報を誤選択するケースがあります。また、代名詞の照応(Q38)についても、つい theyを〈人〉を指すものだと早合点して、“students”と誤認し(B)を選ぶパターンもあるでしょう(実際は直前の ideas が先行詞)。対処法としては、初心に立ち戻って、本文中に該当情報を明確にマークする習慣を徹底し、細部に注意を払って読み取る練習をさらに重ねましょう。

Questions 35–42 refer to the following letter.

Dear Editor:

I read the article in last week's school newspaper about the new science textbooks the school purchased this year. It seemed bizarre to me that some people apparently do not
Line like the new books because they think the books have too many pictures and graphics.
5 These people would prefer that books include just words and a lot fewer charts and tables. I disagree that there are too many pictures and graphics in the new books, and I want to explain why.

I am not saying that I think reading is not important; of course it is. But when some ideas are just described in sentences and paragraphs, they are not always easy to
10 understand. This is especially true when the ideas are very new to students or really complicated. That is when pictures can really help. They do not replace the words, but they make what the words are saying a lot clearer sometimes. There's a famous saying: "A picture is worth a thousand words." I think that makes sense because sometimes I understand scientific information more quickly once I see a picture of what
15 is going on. But if I only read about the same idea, I might read a lot and still be confused. Many students agree that it is important to get information in visual form rather than simply read it.

Also, pictures, charts, and graphs not only help us while we are students but also to be successful in our jobs when we are adults. Scientists use charts and graphs all the time.
20 Business people do, too, as do people who have to operate machines and follow patterns or maps.

When I took a chemistry class last year, I really appreciated the different diagrams and charts in the textbooks. For example, I learned that water can exist as a solid, liquid, or gas. A chart in the textbook we were using explained this with pictures of water in
25 different forms, like liquid water in a river, solid water in an ice cube, and water that becomes part of the air, like the steam that rises from hot water. The new textbooks have a similar chart about water, and they also have many new diagrams and charts that I think chemistry students will benefit from.

Sincerely,

Ellen Lee

35. Why did Ellen probably write the letter?

- (A) To disagree with an opinion she read in the newspaper
- (B) To explain why some books do not need to include charts and graphs
- (C) To express her disappointment about the school's selection of new textbooks
- (D) To encourage other students to write to the newspaper

36. In line 3, the word bizarre is closest in meaning to _____.

- (A) encouraging
- (B) strange
- (C) exciting
- (D) correct

37. What do some people dislike about the new textbooks?

- (A) The poor quality of the printing
- (B) The amount of money they cost
- (C) The way they present some information
- (D) The range of topics they include

38. In line 9, the word they refers to _____.

- (A) ideas
- (B) students
- (C) sentences
- (D) paragraphs

39. In line 16, the phrase in visual form is closest in meaning to _____.

- (A) during class
- (B) outside in nature
- (C) as a picture or other graphic
- (D) through an experiment or research

40. What does Ellen NOT say about charts and graphs to support her argument?

- (A) They are used by people in many jobs.
- (B) They make some ideas easier to understand.
- (C) They make textbooks less expensive to buy.
- (D) They are helpful to chemistry students.

41. Why does Ellen mention a river in her letter?

- (A) To share what she learned on a recent field trip
- (B) To describe a photograph on the cover of a science book
- (C) To suggest that charts and graphs are not always appropriate
- (D) To give an example of a chart she found useful in a book

42. According to Ellen, what do the old and new science books have in common?

- (A) They include a similar number of diagrams.
- (B) They were chosen by the same teachers.
- (C) They were written by the same author.
- (D) They include a chart about water.

35~42

問題35~42は以下の鳥についての本の文章に関するものです。

アヒルやガチョウのような鳥は飛ぶことも得意ですが、ほとんどの時間を水のある場所で **35. 彼らは過ごします**。一年中、とても寒い時でさえ、これらの鳥は湖や川に浮かんでいるのが見られます。濡れたり寒くなったりすることを **36. これらの鳥にさせないものは**、彼らの羽毛についた天然のオイルです。そのオイルは単に、水が羽毛にしみ込むこと **37. を** 防ぎます。その上、**38. 油っぽい羽毛の下に**、鳥はダウンと呼ばれるとても柔らかい羽毛のもう1つの層を持っています。凍りそうなほど冷たい水に **40. 飛び込むときでさえ**、鳥が温かいままでいるのに役立つのは、**39. 主に** この柔らかくて軽量のダウンなのです。実際、ダウンはとてもよくものを **41. 温めておくこと** ができるので、人もまたそれをこの目的で使用します。ダウンは世界中で、コート、毛布、その他のものに詰められて使われ、それらを軽量 **42. かつ** 温かいものになっています。

解説

35. 文法問題です。正解は (B) **they spend** です。この問題では、このセンテンスの主節の主語と動詞が「although」で始まる副詞節に続かなければならないことを認識する必要があります。代名詞「they」は「birds (鳥)」を指しています。このセンテンスは、鳥が通常もしくは習慣的に行っていることを述べているので、動詞の時制は現在形「spend」でなければなりません。選択肢 (A) は、主語を含んでいないので、正解になりえません。選択肢 (C) は、主語はなく、動詞と目的語だけなので、正解になりえません。選択肢 (D) は、主語、動詞、目的語 (it) を持つ節ですが、このセンテンスにはすでに目的語 (time) があるので、正解になりえません。

36. 文法問題です。正解は (C) **What keeps these birds** です。この問題は、センテンスの動詞「is」に適合する名詞句を問うものです。「the thing that」を意味する関係代名詞「what」を持つ選択肢 (C) が意味的にも成立します。選択肢 (A)、(B) はこのセンテンスの動詞の前で文が完結してしまい、(D) は意味的に適合しません。

37. 語彙問題です。正解は (C) **from** です。この問題では、文の意味が通るような正しい前置詞を選ぶことが求められています。(C) は「stop A from -ing (A がーするのを妨げる)」を表します。選択肢 (A)、(B)、(D) はすべて、このセンテンスの文脈に合致しない前置詞です。

38. 文法問題です。正解は (A) **underneath their oily feathers** です。この問題では、動詞「have」を修飾または説明する副詞句を認識しなければなりません。選択肢 (A)「underneath their oily feathers」は、これらの鳥がどこに油っぽい羽毛を持っているかを表す副詞句として適切です。選択肢 (B)、(D) を副詞節にするには接続詞が必要で、(C) はこのセンテンスに文法的に適合しません。

39. 文法問題です。正解は (B) **It is primarily** です。このセンテンスでは、与えられた語句から「It is ~ that ... (…なのは～)」の強調構文を見抜くことがポイントで、「it is」だけが文法的に適合します。選択肢 (A)、(C)、(D) は、このセンテンスに文法的に適合しません。

40. 文法問題です。正解は (C) **even when it dives** です。この問題は、副詞節内の正しい語順を問うものです。選択肢 (A)、(B)、(D) は、正しい語順ではないので、このセンテンスに文法的に適合しません。

41. 語彙問題です。正解は (D) **keeping** です。この問題では、節の意味が通る正しい動名詞を選ぶことが求められています。「keep」は「すでに確立された、または起こっている方法で作用し続けること」を意味します。鳥はすでに温かいので、羽毛は彼らが確実に温かいままでいられるように作用します。選択肢 (A)、(B)、(C) は、それと同じ意味を伝えていません。

42. 語彙問題です。正解は (B) **both** です。この問題では、節の意味が通る正しい接続詞を選ぶことが求められています。この節の最後に、2つの等しく重要な特徴である「lightweight (軽量な)」と「warm (温かい)」が示されているので、接続詞が必要です。2つの形容詞を導くことができるもう1つの接続詞は選択肢 (C)「either」ですが、「either」は2つの形容詞のどちらかを選ぶことを示唆しています。ダウンは衣料品を軽量かつ温かくするのであって、軽量にするかまたは温かくするかではありません。選択肢 (A) と (D) は、このセンテンスに対して、文法的にも意味的にも適合しません。

4.3 〈読解ストラテジー ポイント解説〉

実際の読解時には以下のステップで進めると効率的ではないでしょうか。

1) 設問を先に読む(必要に応じて)

特に具体的な数字や固有名詞を問う設問がある場合、先に目を通しておくと本文読解中にそれらを見逃さずに済みます。ただし文章の主旨を問う問題などは先読みしてもヒントが少ないため、最初にざっと設問を眺める程度で構いません。

2) 全文を通読し主旨を掴む

最初の1~2段落を読めばテーマがおおよそ見えてきます。タイトルや冒頭文に注目し、記事なのか物語のかなど文章タイプを判断しつつ、筆者の言いたいことを意識して読みます。長文では段落ごとに一旦立ち止まり「この段落のポイントは○○だ」と自分なりに要約すると理解が深まります。表やリストがある場合は、その内容(日時やタスクなど)を把握しながら読み進めます。

3) 設問に答える

本文を読んだら設問を解き始めます。該当箇所を探すテクニックとして、設問に人名・地名・数字などがあれば本文中からそれらをスキャンし、該当部分を精読します。主旨問題では最初と最後の段落を再確認し、全体を通じて一貫するテーマを選びます。語句の意味を問う問題では、その単語の前後2~3文脈を読み、言い換え表現や対比表

現ヒントになっていないか探します。推論問題では、本文に直接書かれていない内容を選ぶ必要があるため、消去法が有効です。本文と明らかに合致する選択肢は除き、可能性が残るものから文章の趣旨に照らして最も妥当なものを選びます。NOT/EXCEPT問題では選択肢一つずつについて本文の記載を確認し、該当しないものを確実に特定します(本文に出ていない選択肢を選ぶのが目的なので、表面的なキーワード一致に惑わされないよう注意します)。

4) 見直し

時間に余裕があれば、本文と自分の選択肢を再度照らし合わせ、聞かれている内容にズレなく答えているか確認しましょう。特に消去法で消した選択肢が本当に本文と矛盾していたか、選択肢に極端な言い回し(always や never などの絶対的表現)が含まれていないかなどをチェックできるとより良いですね。

こうした学習ガイドに沿って練習を積み重ねれば、リーディングセクションで求められる段落構成の把握や文脈からの単語推測、迅速かつ正確な情報検索の力が養われるでしょう。

5. スコアアップを目指す学習ステップ(段階的アプローチ)

最後に、TOEFL Junior®におけるスコアアップを目標にするを一つのモデルケースとして、英語学習の段階的なアプローチを提案します。初級者から上級者まで、自分の現在地に合わせて順にステップを踏んでいくことで、効率よく得点向上を図ることができます。

ステップ1：基礎語彙の強化 – 「まずは知っている単語を増やす」

まずは英語の土台となる基本語彙を充実させましょう。頻出の日常単語や学校で習う基本単語(約2000語程度)を中心に、絵カード・単語帳・スマホのアプリなどで集中的に覚えます。目安として英検3級～準2級レベルの単語を網羅できれば、TOEFL Junior®の文章で出現する基本語はカバーできます。知らない単語が減れば、文章全体の理解度が飛躍的に向上するため、まずは語彙力強化に時間を割きます。

ステップ2：文法の体系的習得 – 「文の骨組みを正しく理解する」

次に、英文法を体系立てて学習します。中学英文法から高校で習う内容まで、一通り教科書や総合英語の参考書・文法書を使って総復習します。特にミスしやすい頻出ポイント(主語と動詞の一致、時制、関係詞節の構造、比較など)は問題演習を通じて徹底的に定着させます。「なぜその選択肢は文法的に誤りなのか」を、他人に説明できるくらいに理解を深めましょう。自分で明示的にルールを説明できるようになれば、文法セクションで迷うことも減るはずで

また、基本構文の音読を通じた暗記・暗誦も有効です。口に出して言える文は理解も速くなるため、暗唱を通じて正確な文の組み立てに慣れましょう。

ステップ3：短文読解と構文練習 – 「易しい文章で読解の型を身につける」

語彙と文法の基礎が固まったら、易しめの英文を使って読解練習と構文把握の練習を始めます。例えば中学校レベルの英文記事や物語を読み、各文がどんな構造になっているかを丁寧に分析します(主節と従節の識別、修飾語句が何を修飾しているかの確認など)。同時に内容理解の練習として、段落ごとに日本語で要約してみたり、文章に関する簡単な質問に答えたりしてみます。この段階では語彙も比較的平易なので、スキミングや推測の基本も練習できます。ここでは読解の「型」を身につけ、次第に長い文章や難しい文章にも対応する下地を作る気持ちで取り組みましょう。

ステップ4：実戦的な読解演習と語彙・文法応用力向上 – 「模試形式で弱点発見と克服」

基礎的な読解力がついたら、TOEFL Junior®の問題演習に取り組み、実際の試験形式で時間内に解く練習をします。ここで大切なのは、「解きっぱなしにしない」ことです。文法問題なら該当する文法事項を参考書で確認し、類題を追加で解いて定着を図ります。語彙問題で間違えた単語はカードに書き出すなどして覚え直します。読解問題なら本文にもう一度目を通し、誤答の選択肢がなぜ誤りだったのか(本文のど

の内容と異なっていたか、設問の意図とズレていたか)を分析します。必要に応じて文章を精読(=わからない単語や構文が一つもない状態にする)したり、和訳を書いたりするのにも有効です。弱点分野の補強も行いましょう。例えば推論問題が苦手と分かれば、推論系の設問を集中的に解いて、考え方のコツを体感的に掴む練習をします。長文読解で時間が足りなくなるようなら、普段からタイマーを使って読書速度(WPM)(注)を上げるトレーニングを取り入れます。こうした演習と復習によって、実戦での得点力が着実に向上しますし、「読めてきたな」という実感が持てるようになるでしょう。

ステップ5：総合仕上げと試験直前対策 「万全の態勢で本番に臨む」

試験が近づいてきたら、最後の仕上げと

して全文の模擬試験を通して解いてみましょう。Listeningも含めて時間配分を本番同様に設定し、集中力を維持する練習をします。解き終えたら自己採点し、(可能であれば)スコア換算して、目標に達しているか確認します。弱点が残っていれば直前でもできる対策(例えば語彙の見直し、頻出イディオムの最終確認、苦手設問パターンの解法復習)を行います。併せて心構えも大切。焦って簡単なミスをしないよう、一問一問丁寧に。ただし時間管理も忘れずに、難問に固執しすぎないように心掛けます。

以上のステップを踏むことで、語彙→文法→読解→総合演習という順序で段階的に力が伸び、TOEFL Junior®のスコアアップに繋がります。実際に公式問題集pp. 42-43でも地道な基礎固めを推奨しています。

6. おわりに ～ 最も確実なスコアアップへの道 ～

ここまで、TOEFL Junior®のスコアレベル別に、文法・語彙とリーディングの課題分析と具体的な学習法について解説してきました。テクニックや問題形式への慣れもちろん重要ですが、それだけで真の読解力が身につくわけではない、ということを最後に改めて強調したいと思います。

このレポートで繰り返し述べたように、語彙や文法といった基礎を地道に固め、一つ一つの英文を丁寧に分析し、間違えた問題の原因を深く掘り下げる、といった「解きっぱなしにしない」学習を継続することが、最も確実なスコアアップへの道です。

それは遠回りに見えるかもしれませんが、揺るぎない土台を築く唯一の方法と言えるでしょう。ここで言う「掘り下げる」とは、単に正解を確認するだけでなく、「なぜ筆者はこの単語を選んだのか」「この一文が持つ本当の含意は何か」「なぜ自分は誤読してしまったのか」と、筆者の意図を汲んだり、自らの思考プロセスそのものを問い直す、批判的で内省的な学習態度を指します。

リーディングは、単に文字を目で追う受動的な作業ではありません。書かれた情報を鵜呑みにせず、その主張の妥当性を吟味し、筆者と対話し、時には異論を唱えながら

自分自身の考えを築き上げていく、きわめて能動的かつ「批判的(クリティカル)な」活動だと言えるでしょう。この力は、単に試験のスコアを上げるだけでなく、将来皆さんが様々な分野の知識を吸収し、自らの世界を広げていくための不可欠な翼となります。

このロードマップが、皆さんの学習の「道しるべ」となり、やがては英語で書かれた広大な知の世界を自由に旅したり、情報に踊らされずに現代社会を賢く生き抜いていくための、確かな一歩となることを願っています。

参照資料

- グローバル・コミュニケーション & テスティング監修. (2025). 『TOEFL Junior®テスト公式問題集』 くもん出版
- Kumon Institute of Education Co., Ltd. (2018). TOEFL Junior® Standard Test Score Descriptors.

MEMO

MEMO

